

(報道資料)

平成18年6月6日

食中毒の発生について

平成18年6月3日(土)16時頃、市内の医療機関から、「腹痛、下痢及び発熱等の食中毒症状を呈した患者を診察した」旨の届出がありました。

調査したところ、患者は5月24日(水)に市内の飲食店で会食しており、参加者29名中18名が同様の食中毒症状を呈し、うち9名が医療機関を受診していることが判明しました。発症者に共通する食事は当該飲食店以外に無く、症状が類似していること、診察した医師から食中毒の届出があったことから、市保健所は当該飲食店を原因施設とする食中毒と断定し、6月6日から6月7日まで2日間の営業停止を命じました。

なお、発症者は治癒または快方に向かっています。

発生日時 平成18年5月25日9時(初発)
発症者数 18名 男性：8名(21歳～59歳) 女性：10名(21歳～31歳)
受診者 9名(入院1名)
症 状 下痢、腹痛、発熱
原因食品 調査中
病因物質 カンピロバクター
原因施設 (行政処分が終了していますので、施設情報を削除しています)

業 種：飲食店営業(居酒屋)

措 置 等 行政処分：6月6日～6月7日までの2日間の営業停止
指導事項：施設の清掃消毒及び食品の衛生的な取扱い指導

メニュー 串(ネギマ、ササミメンタイコ、プルコギ串、大葉セセリ、つくね、山芋磯辺)
唐揚げ、フライドポテト、さつまいもスティック、鳥丸焼き、サラダ、枝豆、カツオたたき

検査関係 患者便 : 9件 検査中
" (医療機関) : 6件 3名からカンピロバクター検出
調理従事者便 : 6件 検査中
拭き取り : 5件 検査中

発生状況

()内は 受診者 (再掲)	年齢	～19歳	～29歳	～39歳	～49歳	～59歳	合計
	男性		5(2)		2	1(1)	8(3)
	女性		9(6)	1			10(6)
	合計		14(8)	1	2	1(1)	18(9)

参 考

奈良市における食中毒発生状況（本件を含む）

本年度発生件数（H18.4～）：1件 患者数：18名

昨年度発生件数：5件 患者数：56名

昨年度同時期：0件 患者数：0名

カンピロバクター

この菌は、ニワトリ等の家禽や家畜をはじめ、ペットや野生動物などあらゆる動物が保菌しています。

肉の生食や加熱不十分、動物（鳥類）などの糞による汚染により、食肉（特に鶏肉）、飲料水、サラダなどが原因や汚染源になります。

潜伏期間は、2～7日と長いのが特徴で、腹痛、下痢、発熱などが主な症状です。

更新状況

平成18年6月13日 原因施設の施設情報を削除
検査状況等を変更（赤字修正）

奈良市保健所生活衛生課
電話：0742-23-6172